

【東北町】 農山漁村の「地域経営」取組事例

東北町の取組

東北町の農業は、水稲・野菜・畜産の個別経営が多いのが特徴です。課題としては、農業者の高齢化や後継者不足が挙げられます。

当町では、新規就農者育成・定着化に向けて、県・農協等と連携したサポート支援に取り組んでいます。

1 農業次世代人材投資事業に係るほ場確認・サポート

当町では、農業士会、JA、農業委員会、県民局によるサポートチームを組織し、新規就農者が抱える「栽培技術」、「営農資金」、「農地」の各課題に対応した指導を行っています。

サポートチームは、計画どおりに生産が進んでいるかなどの現地確認や栽培技術の習得支援、複式簿記の記帳方法の習得支援、資金活用に向けた借入計画の作成支援など、新規就農者に対するフォローアップ活動を行っています。



(サポートチームによるほ場の現地確認、フォローアップ活動)